

第6回 教育関連学会連絡協議会総会・議事要旨

日 時：2018年3月17日（土）13時～15時

場 所：東京大学 赤門総合研究棟 A200

加盟 69 学会のうち、34 学会の代表参加、33 学会の委任状により本総会は成立した。

報告事項

1. 本日のシンポジウムについて（資料 1）

- ・「教育研究の国際化」について開催準備状況が報告された。司会は深澤広明先生となった。

2. その他

- ・2017 年度の会務報告がなされた（当日配布資料）。
- ・会費納入状況について報告された。今年度は未納学会は無かった。

審議事項

1. 2017 年度会計報告（資料 2）

- ・2017 年度の会計報告が承認された。来年度へ約 120 万円が繰り越される。

2. 次年度の活動計画

- ・次回総会（予定）：

2019年3月16日（土）運営委員会 12：00～13：00、総会 13：00～15：00、その後シンポジウムとする。会場未定。

3. 新規の加盟申請・退会

- ・日本特別活動学会より新規加盟の申請があり、承認された。
- ・こども環境学会より脱退の申請があり、承認された。
- ・以上により、加盟学会は 69 学会となった。

4. 次期役員選挙

- ・選挙管理は勝野正章先生に依頼し、開票を行った。
- ・学術会議よりは佐藤学先生、志水宏吉先生が運営委員に選ばれた。今回の選挙で加盟学会より他の運営委員 10 名を選出し、以下のとおり当選となった。

米田俊彦（教育史学会）

今井康雄（教育哲学会）

松下佳代（日本カリキュラム学会）

小玉重夫（日本教育学会）
大桃敏行（日本教育行政学会）
吉田文（日本教育社会学会）
深澤広明（日本教育方法学会）
池野範男（日本教科教育学会）
高野和子（日本教師教育学会）
汐見稔幸（日本保育学会）

以上（敬称略）

5. その他

特になし。

<資料>

1. シンポジウムのチラシ
2. 会計報告書
3. 加盟学会一覧被選挙者名簿
（当日配布資料）
 - ・教育関連学会連絡協議会。第6回総会・会務報告
 - ・教育関連学会連絡協議会・規約
 - ・教育関連学会連絡協議会・内規
 - ・WERA2019 FOCAL MEETING IN TOKYOの概要

以上

教育関連学会連絡協議会公開シンポジウム

教育研究の国際化

話題提供者

恒吉僚子（東京大学大学院教授）

杉村美紀（上智大学副学長）

ウォルター・ドーソン（国際基督教大学教授）

報告：世界教育学会（WERA）東京大会（2019年）
の開催に向けて：佐藤学（学習院大学教授）

日時：2018年3月17日午後3時半—6時

場所：東京大学赤門総合研究棟：A200 教室

教育関連学会連絡協議会

<http://ed-asso.jp/>

どなたでも自由に参加できます。

教育関連学会連絡協議会 2017年度会計報告（2018年3月17日現在）

（単位：円）

	費目	金額	備考
収入の部			
	2016年度より繰越	802,901	
	会費	760,000	2015年度： 10,000×1団体(未払い0団体) 2016年度： 10,000×7団体(未払い0団体) 2017年度： 10,000×68団体(未払い0団体)
	利息	14	
	計	1,562,915	
支出の部			
	人件費	150,000	事務局職員分
	事務委託料(実費)	20,150	消耗品等事務局負担分
	謝金	20,000	シンポジウム登壇者
	旅費	1,840	
	会議費	19,530	運営委員会弁当・お茶代
	会場使用料	16,200	総会・シンポジウム
	HP委託料	64,800	ウェブサイト維持費
	手数料	972	銀行振込等手数料
	計	293,492	
収支差額			
		1,269,423	
繰越金			
		1,269,423	

※人件費・事務委託料は日本教育学会へ支出

教育関連学会連絡協議会・第6回総会・会務報告

佐藤 学（代表・運営委員会委員長）

1. 会務報告

- ① 2017年3月18日、学習院大学において第5回総会を開催した。同日、第2期第5回運営委員会と公開シンポジウム「教育研究分野の若手育成」を開催した。
- ② 2017年8月25日、桜美林大学において第2期第6回運営委員会を開催し、本日開催される公開シンポジウムを「教育研究の国際化」とすることを審議決定し、併せて本総会の役員選挙について審議した。
- ③ 本連絡協議会の加盟団体は、第5回総会において69学会、本第6回総会において1学会が退会し1学会が入会して、現在69学会である。
- ④ 2017年8月をもって、日本教育学会事務局専任の黒後真樹さんが退職し、山田武輝さんが就任したことにより、本連絡協議会の事務担当が黒後さんから山田さんに交代した。

2. 会計報告（別紙参照）

2018年3月17日

教育学関連学会連絡協議会・規約

第一条 本会の名称を「教育学関連学会連絡協議会」とする。

第二条 本連絡協議会は、教育に関わる学術研究の交流と発展をめざして、各学会の自主性を尊重しつつ相互の連携をはかることを目的とする。

第三条 本連絡協議会への加盟は、日本学術会議の登録団体であることを条件とする。

第四条 本連絡協議会の運営のうち、重要事項は各参加学会の代表による総会によって決定する。総会の議決を必要とする事項については、別途、内規によって定める。

第五条 本連絡協議会に運営委員会と事務局を置く。

第六条 運営委員会は、参加する学会の代表者の互選によって選出された者および日本学術会議の会員・連携会員の互選によって選出された者によって構成する。

第七条 運営委員会の組織と運営に関しては、別途、内規によって定める。

第八条 本連絡協議会に加盟する学会は、所定の会費を納め、総会の承認をえなければならない。

教育関連学会連絡協議会・内規

<内規 1> 教育関連学会連絡協議会運営委員会の組織と運営に関する内規

第一条 本連絡協議会の運営委員会は以下の構成員によって組織する。

- ① 日本学術会議会員または連携委員より 2 名。
- ② 参加学会の代表より 10 名。
- ③ そのほか、本連絡協議会の運営委員会の推薦によって特に必要とされた場合の学会代表者

第二条 本運営委員会は以下の項目について審議する。

- ① 本連絡協議会の活動方針。
- ② 本連絡協議会の財務。
- ③ 本連絡協議会の運営。

第三条 運営委員会は委員長 1 名、事務局長 1 名を選出する。運営委員会委員長は、本連絡協議会の代表を兼務する。

第四条 規約第六条にもとづき、運営委員会委員のうち第一項と第三項の委員は運営委員会の推薦にもとづいて総会で承認し、第二項の委員は参加学会の代表者による互選とする。運営委員会の委員の任期は 3 年とする。

第五条 運営委員の交代については運営委員会委員長が提案し総会で承認する。

第六条 運営委員会は定例年 2 回開催することとする、そのほか、運営委員会の決定にもとづいて臨時の会議を開催することができる。

第七条 運営委員会の事務局は、当面、日本教育学会が担当するものとする。

(第四条の規定にも関わらず、第一期の運営委員の任期は 1 年半とする。)

<内規 2> 教育関連学会連絡協議会の会費に関する内規

第一条 本連絡協議会の会費は年会費 1 万円とする。

第二条 年会費を 3 年連続で納めない場合は、本連絡協議会への参加の継続の意思なしとみなす。

<内規 3> 教育関連学会連絡協議会総会に関する内規

第一条 規約にもとづき、以下の諸項目に関する事項については総会において決定する。

- ① 本連絡協議会への参加学会の承認。
- ② 本連絡協議会の規約と内規の改正。
- ③ 本連絡協議会の参加学会代表の運営委員の選出。
- ④ その他、総会による決議が必要と運営委員会において判断された事項。

第二条 総会の決定は参加学会の代表各 1 名による投票とする。総会は参加学会代表の過半数で成立し、過半数の賛成で議決する。事項によってメール審議も可能とする。

WERA2019 FOCAL MEETING IN TOKYO の概要

FUTURE OF DEMOCRACY AND EDUCATION: REALIZING SOCIAL JUSTICE WORLDWIDE?



教育関連学会連絡協議会代表・
WERA2019実行委員長 佐藤 学

WERAについて

- World Education Research Association; 2009年創立。(日本教育学会(JERA)は、創設学会の一つ)。
- 世界26カ国・地域を代表する教育学会の連合体。
- 通常、毎年1回、大会(focal meeting)を加盟学会との共催で開催している。
- 現在は、約30カ国・地域の教育学会が参加し、理事会の審議によって運営している。
- 現在の会長は、Felice Levine (アメリカ教育学会会長)、次期会長は Ingrid Goglin (前ヨーロッパ教育学会会長、前世界教育学会会長)、副会長は、Yunus Eryaman (トルコ教育学会前会長)、事務局長は Liesel Ebersohn (南アフリカ共和国教育学会前会長)。

WERA2019 TOKYO : FUTURE OF DEMOCRACY AND EDUCATION: REALIZING SOCIAL JUSTICE WORLDWIDE?

- WERA2019 Tokyo 大会は、2019年8月5日-8日、日本教育学会第78回大会と並行し共同で開催する。

会場と企画:

8月5日 東京大学安田講堂

開幕式

基調講演1, 2, 3

WERA創立10周年記念シンポジウム

8月6日、7日、8日 学習院大学

基調講演4, 5

実行委員会企画: 国際シンポジウム1, 2, 3

テーマ別国際シンポジウム1, 2, 3 (教育関連学会連絡協議会加盟学会から希望を受け付ける)

予想参加人数: 国内700人、海外250人

実行委員会・今後のスケジュール

- WERA2019実行委員会: 昨年10月組織: 毎月会議を開催。(資金集め、企画の準備、対外発信、国内諸団体、海外の学会、wera加盟学会との連絡協議)

佐藤学(委員長)、北村友人(副委員長)、小玉重夫(副委員長)
中村雅子(副委員長)、丸山英樹(事務局長)、瀬賀美紗子、
松浦良充ほか

- 4月NYで理事会、8月ケープタウンで世界会議=企画最終決定
- 4月、ホームページ開設(広報)
- 10月、学会発表の応募受付開始(12月末日まで)
- 3月、応募審査終了
- 3月、大会参加申し込み受付開始。